

令和2年第4回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和2年12月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐々木常子 (一問一答方式)	<p>1 がん対策について</p> <p>(1) 子宮頸がんワクチンは2013年、定期接種化されたが、現在は「積極的勧奨の中止」となっている。近年、子宮頸がん罹患率、死亡者数、ともに増加傾向であるが、当別町としての考えと対応について伺う。</p> <p>(2) 若い世代のがん罹患率が増加しているが、乳がんグローブの配布について伺う。</p> <p>2 行政のICT化について</p> <p>(1) 現在つかえる政府のオンラインサービス(子育てや介護、行政手続きなど)を活用するべきではないか、伺う。</p> <p>3 「結婚新生活支援事業」について</p> <p>(1) 当別町として、若い世代を呼び込もうと取組みを進めているが「結婚新生活支援事業」に取り組むべきではないか、伺う。</p>
2 番	西村 良伸 (一問一答方式)	<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症による町内の状況もしくは影響はどうか。</p> <p>(2) これまで、コロナ対策のために計上してきた個別事業の執行状況と効果や成果はどうか。</p> <p>(3) 今後も継続する事業や新たに実施する対策は想定しているのか。</p> <p>2 令和3年度の予算編成について</p> <p>宮司町政は、2期目の3年4ヵ月を経過し、2期目最後の予算編成となる。</p> <p>このため、令和3年度については、当別町第6次総合計画推進や2期目公約の目処・道筋を想定するとともに、重点的な施策を選択して、予算編成を進めていると予測している。</p> <p>(1) 令和3年度の予算は、どのような編成方針や重点施策を定め予算策定の指示をしているのか。</p> <p>(2) 重点施策予算化のための多額な財源の確保をどのように検討しているのか。</p>
3 番	山田 明 (一問一答方式)	<p>1 第8期当別町高齢者保健福祉計画当別町介護保険事業計画の策定について</p> <p>(1) 第8期高齢者福祉計画の策定にあたり、第7期計画の各施策の総括及び検証、また、地域の課題の洗い出し、更には見直しを含めた検</p>

		<p>討は行われたのか。また、第8期の策定に向けて地域の課題はどのような事か。そして、その課題解決に対して、どの様に取り組むのかを伺う。</p> <p>2 成年後見支援センターの設置について</p> <p>(1) 成年後見制度の認知度が低く、必要な人が制度の利用に至っていない事が多く見受けられる。制度の町民への認知度を上げると共に、成年後見支援センターの設置を行い、相談支援体制の整備が早急に必要と考えるが見解を伺う。</p>
4 番	鈴木 岩夫 (一問一答方式)	<p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 補正予算には抗体検査の予算が計上されている。 9月議会では、町として独自に北海道医療大学の検査能力を活用できるように引き続き努力すべきという質問に対して、医療大学との連携では研究推進事業に町も参画するなど今後も強化していく、また、連携での事業では「行政検査」ではなく安心のための「社会検査」と理解していると答弁されている。なぜ抗体検査なのか、積極的な検査、安心のための「社会検査」としてのPCR検査は実施しないのか伺う。</p> <p>(2) 軽症患者の隔離・保護施設を確保は、待ったなしと考えるが伺う。</p> <p>(3) 町内医療機関におけるインフルエンザワクチン確保が不足している。町として医師会と相談するなど十分確保されるよう努力すべきと考えるが伺う。</p> <p>(4) 医療介護施設への経営支援を拡充すべきと考えるが伺う。</p> <p>(5) 職員増など保健福祉課の強化をすべきと考えるが伺う。</p> <p>(6) 感染対策への啓蒙と合わせて詳しく情報公開をすべきと考えるが伺う。</p> <p>(7) 補正予算には町民税の減収9,000万円、減収補填債9,000万円が計上されている。また緊急小口資金の貸し付けも増加している。町民が安心して年を越せるか不安である。今回の補正予算に経済対策がないのはなぜか、町民・事業者の経済状況をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(8) 生活困窮者・中小事業者などに「年越し給付金」を創設し、給付すべきと考えるが伺う。</p> <p>2 農業10年ビジョンについて</p> <p>米の価格の引き下げと37万トンともいわれる生産調整(減反)が計画されている。</p> <p>(1) 本町のコメ農家への影響について伺う。</p> <p>(2) 戸別所得補償の復活を国に求めるべきと考えるが伺う。</p>

		<p>3 伊達山遺跡の文化財指定について</p> <p>50年前高校生による発掘、教育委員会による調査報告書発行が行われた。しかし、現地は整備されずそのまま放置されている。この間、民間有志による整備・活用が進んでいる。</p> <p>(1) 今後町の文化財に指定するなど考えはないのか伺う。</p>
5番	五十嵐信子 (一問一答方式)	<p>1 ケアラー支援の取り組みについて</p> <p>高齢化社会が進む中、介護や看病・療育が必要な家族や近親者を無償でサポートするケアラーが、今後さらに増えていくことが予想される。すでに調査と支援に乗り出している自治体もある。</p> <p>(1) ケアラー支援についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 問題とされているヤングケアラーの実態把握は行われているのか伺う。</p> <p>(3) ケアラーと地域をつなぐツールとしての「ケアラー手帳」についての考えを伺う。</p> <p>(4) ケアラーが抱える不安や悩みを共有し、気軽に相談の出来るサロンや居場所作りや、西当別地区にはサテライト型地域包括支援センターを望む声もあるが見解を伺う。</p> <p>2 ボランティアの活躍の場について</p> <p>(1) 当別町には人口の一割近くのボランティアさんが登録されていると聞いている。実際活動されている方はどの程度なのか伺う。</p> <p>(2) 今後ボランティアさんの活躍の場をどのように広げて、マッチングしていこうと考えているのか伺う。</p> <p>(3) 高齢者のボランティア活動は、介護予防にもつながる。有償ボランティア養成講座の推進と共に介護施設等と連携し、活動の場を広げる考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 町内会と連携し、希望する方の困り事（草刈り・雪かきなど）の解決につなげる活動の体制を作るべきと考えるが伺う。</p>
6番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>1 新年度予算編成の重点項目について</p> <p>令和3年度は、当別町第6次総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の2年目になり、1年目の新型コロナウイルスによる影響を踏まえ収束を見据えて、新たな社会づくりを先導する取り組みを検討し、将来世代へ負の遺産を継承しない姿勢が重要と考えます。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、企業収益や個人消費が低迷し、法人税が落ち込み消費税も伸び悩み町税・交付税等歳入についてどのように想定されているか、伺う。</p> <p>(2) 新年度の予算規模また予算編成の基本方針は何か、伺う。</p> <p>(3) 地域における Society5.0 の推進と SDGs (持続可能な開発目標) の実現に向け努力することで直面する課題の解決を目指す、町として予算の中でターゲットを表示するなどの取り組みについて伺う。</p>

		<p>(4) 人口減少対策として、出生数の減少は今後の当別の発展に大きな影響が出る。他町村と差別化した展開が必要であり、具体的に出生の2子、3子の手当、親子2世代住宅建設の補助等が重要と考えるが、伺う。</p> <p>(5) 働き方改革でテレワークの推進・移住促進の実施を検討する企業・個人が多くなってきている。町として、空き家住宅を有効に活用していく事が重要と考えるが、伺う。</p> <p>(6) すでに住まれている移住者・町民から水道料金・下水道使用料が札幌と比べ、かなり高いとの声が多く寄せられる。具体的に料金の見直しが必要と考えるが伺う。</p> <p>(7) 公共施設の使用料の見直し特に町外者のコミセン・テニスコートの利用について見直しの検討が急務と思うが伺う。</p> <p>(8) 財政健全化の指標の一つである実質公債費比率 10.5%、不納欠損額 2,966 万円の改善を期待するが伺う。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>(1) 町内では、今迄感染者は複数名と公表されているが石狩振興局の発表によるとかなりの感染者が石狩管内で報告されている。現状の実態はどのようになっているか伺う。</p> <p>(2) 感染症の影響により、総合相談窓口对个人・事業者の経済活動等に関する新たな相談等の動きについて又現況を見据えた独自財源による更なる施策展開の認識を伺う。</p> <p>(3) 2020年10月に予定されていた当別町150年記念式典・事業が延期されているが、今後の方針について伺う。</p> <p>(4) 前定例会で、更なる支援と対策の為インフルエンザ予防接種の65歳以上の無償化・プレミアム付き商品券の継続を提案しているが、その後の進捗はどの様になっているのか、伺う。</p> <p>(5) 今後、感染拡大による町職員が感染した場合には影響を最小限に抑えつつ役場機能の維持を図らねばならない。最悪の事態も想定した中で機能がストップせぬ様、どのように進めているのか、伺う。</p>
--	--	---

【計：6人、3時間00分（1人30分計算）】